

デジタル絵図を使ってみよう！

1 サイトへアクセス

「桑折宿デジタル絵図」で検索、または、右記二次元コードを読み取りサイトへアクセス。



2 デジタル絵図を動かしてみよう

① カテゴリー選択

マップの上にある「検索」をクリックし、マップに表示させたいカテゴリーを選択（複数選択可）。「この条件で表示する」をクリックすると、選択したカテゴリーに該当する場所にアイコンが表示されます。



② 透明度調整

透明度の青いバーを左右に動かすと、現代のマップ上に重ねられた「桑折村絵図」の透明度が変化します。



③ 歴史遺産情報を見る

マップに表示させたカテゴリーアイコンをクリックすると写真が表示され、さらに写真をクリックすると詳細な歴史遺産情報を見ることができます。



旧伊達郡役所
歴史的建造物

3 モデルコース案内・スタンプラリー

① モデルコース案内

モデルコースの案内マップ、順路なども確認できます。



② スタンプラリー機能

モデルコースを巡るスタンプラリー機能もあり。

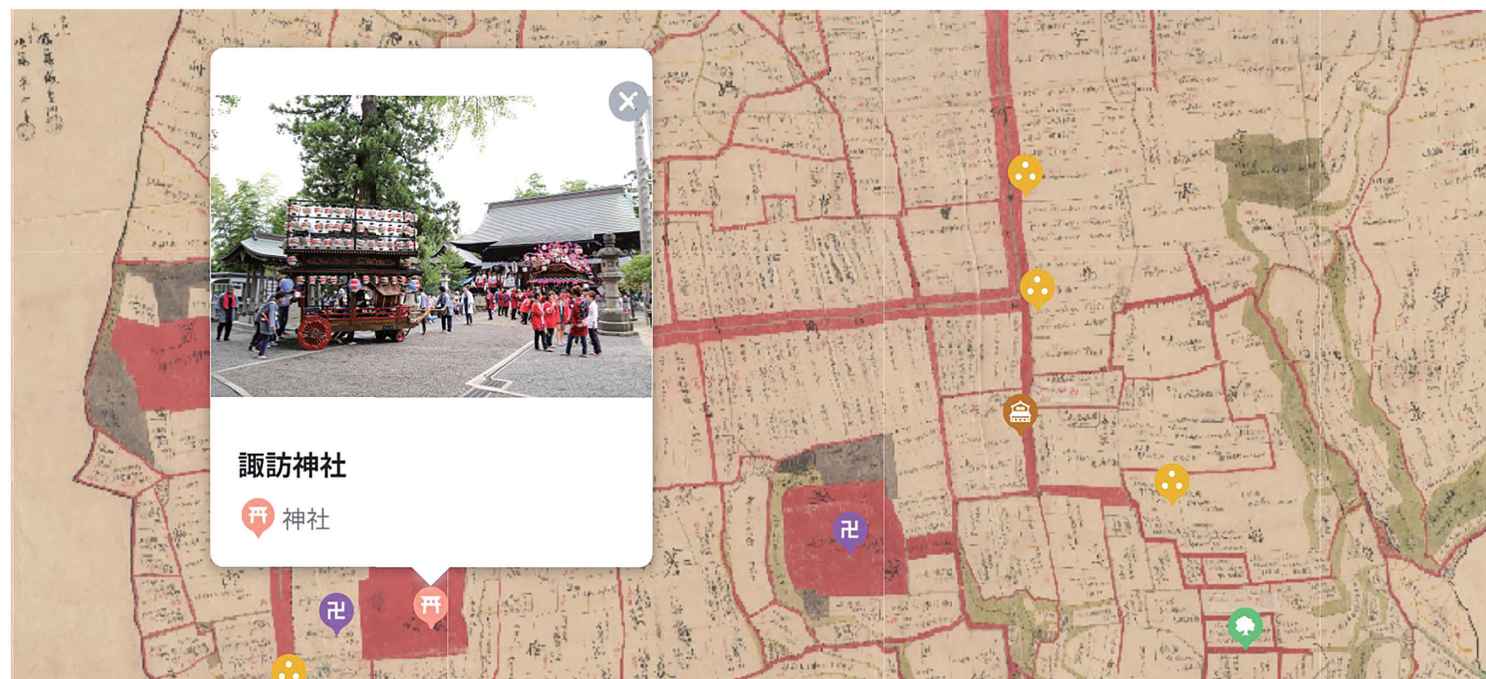


※運転中はもちろん、歩きながらのスマートフォン操作はおやめください。画面を確認する場合は、安全な場所で立ち止まり、周囲の状況を確認した上で操作してください。



サイトでは、明治時代の町の写真なども紹介しています（写真は明治末期の北町界隈）。

「明治七年桑折村絵図」の透明度を100%にしたデジタル絵図。透明度合いはお好みで調整することができ、拡大・縮小なども可能。また、各スポットをクリックすると、詳細な歴史遺産情報を確認することができます。



明治七年桑折村絵図（全図）



まち歩き、郷土学習で活用

桑折宿デジタル絵図は、現在地も確認することができるため、昔の町割りと現在の町並みを見比べながら、まち歩きが楽しめます。歴史遺産情報も満載で、郷土学習の教材にも最適です。150年前の桑折宿の町並みに思いを馳せながら、現在との違いや新たな発見を楽しみましょう。



町内には、当時の姿のままの土蔵造や木造の建物が残されていますが、東日本大震災や2度にわたる福島県沖地震によって甚大な被害を受け、多くが解体を余儀なくされました。そこで、いにしへの「桑折宿」の様子を体感できるように、「デジタル絵図」を制作しました。

「桑折宿デジタル絵図」は、幕末・明治時代の桑折宿の様子を記した「明治七年桑折村絵図」と現在の地図を重ねて見ることができ、デジタルコンテンツです。パソコンやタブレット端末、スマートフォンで操作することができ、昔と今を見比べながらまち歩きができるようになりました。また、スポット検索機能を使うことで「旧伊達郡役所が建っている場所は、元は畑で、江戸時代の桑折陣屋に向かう道が通っていた」「旧伊達郡役所の前の交差点から国道4号に抜ける道も無く、町家が建っていた。そして明治になり警察署が建てられた」という町の変遷も学ぶことができます。スマートフォンを片手に町に繰り出して、幕末・明治の「桑折宿」にタイムスリップしてみませんか。

桑折町の中心市街地は、江戸時代に「桑折宿」として賑わいました。その成り立ちは、伊達植宗が桑折西山城を築いたとき、現在の桑折工業団地付近にあった町場を本町辺りに移したことがはじまりと考えられています。

桑折宿は、東北地方の2大街道である「奥州街道」と「羽州街道」の分岐点「追分」があり、また、飯坂や相馬とつながる街道も合流する宿場町であったことから、人・モノが行き交う交通の要衝として栄えました。

明治時代になってからは、養蚕業で生産された製品や半田銀山への供給物資などの集散地として重要な役割を担うとともに、伊達郡役所や警察署などの官公庁も集められ、県北地方の政治・経済の中心として発展しました。

「桑折宿デジタル絵図」運用開始

幕末・明治時代の「桑折宿」の様子が分かる「明治七年桑折村絵図」と、現代の地図を見比べることができる「桑折宿デジタル絵図」を制作しました。まち歩きや郷土学習に、ぜひ活用ください。

町内には、当時の姿のままの土蔵造や木造の建物が残されていますが、東日本大震災や2度にわたる福島県沖地震によって甚大な被害を受け、多くが解体を余儀なくされました。そこで、いにしへの「桑折宿」の様子を体感できるように、「デジタル絵図」を制作しました。